

根室市新庁舎建設かわら版

新庁舎完成までの進捗状況

基本構想 基本計画 基本設計 実施設計 建設工事
R2.3 策定 R2.11 策定 R3.2 策定 R4.3 策定 現在 ●●●●●

R4.5~R4.7 新庁舎準備工事
R4.7~R6.3 新庁舎建設工事
R6.6~R6.10 現庁舎解体工事
R6.10~R7.7 現庁舎改修・外構工事

R6.5~
新庁舎
供用開始

これまでの新庁舎建設工事について

今回は令和4年7月に着手した新庁舎建設工事について、これまでどのような工事を行っているか、みなさんにお届けしていきます。

やまどめ ①山留工事

まず新庁舎建設地の掘削作業を行うため、掘った地面の周りの土が崩れてこないようにする「山留工事」を行いました。

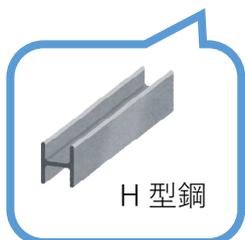
▶ オーガーという大きな重機で地面に穴を掘ります。



▲ 穴を掘った地面に杭（H型鋼）を打ち込んでいきます

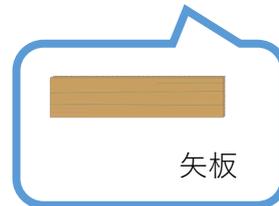


▲ 打ち込んだ杭（H型鋼）の間に矢板を差し込みます



H型鋼

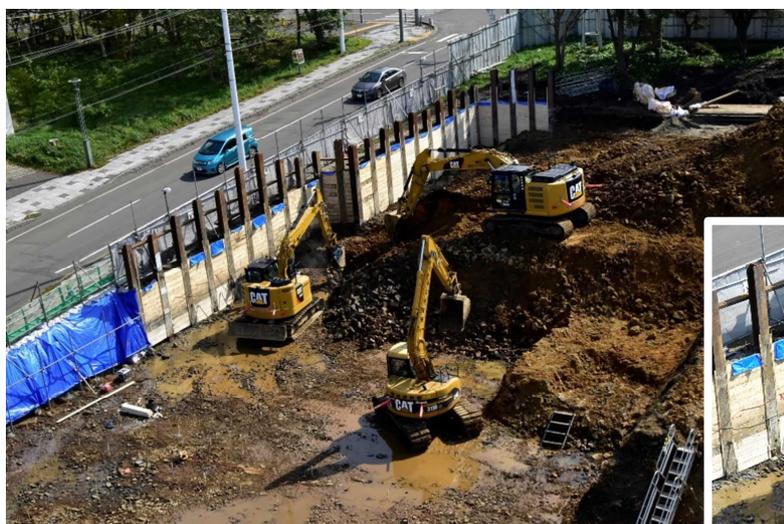
この山留工事を
おやくいよこやいた
親杭横矢板工法といいます



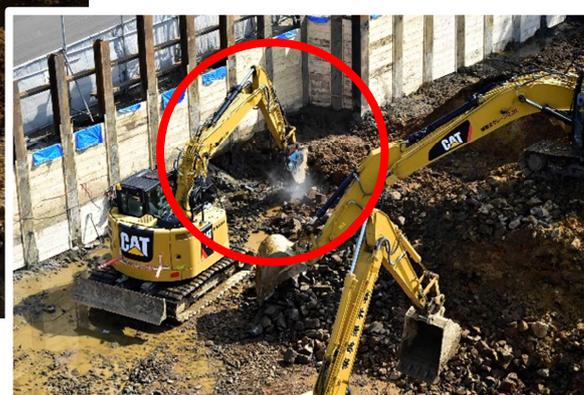
矢板

②掘削工事

次に掘削工事を行いました。新庁舎の建設地は事前の調査でも堅固な地盤であることが分かっていましたが、実際に掘り進めてみると白煙が上がるほど固い地盤となっていました。



▼ 先端がドリルのようにになっている「油圧ブレイカー」という重機を使い、岩盤を掘削していきます



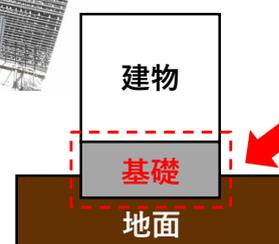
③底盤配筋工事

ていばんはいきん



▼ 大量の鉄筋が1本ずつ組み立てられていきます

掘削作業が終わり、いよいよ基礎工事が始まりました。基礎とは地面と建物を繋ぐ重要な部分で、まず建物の一番底となる部分に鉄筋を組み立てる「底盤配筋工事」を行いました。



④基礎コンクリート打設工事

底盤配筋工事が終わり、次に基礎部分のコンクリート打設を行いました。この部分は新庁舎地階の床部分になります。



◀
コンクリートを
流し込んでいきます



▲ 地階の床部分が見えてきました

かたわく ⑤型枠工事

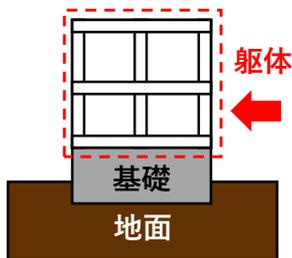
地階の床が出来上がり、躯体の工事が始まりました。躯体とは壁や柱、梁など、建物の主要な構造部のことで、まずは

コンクリートを打設するために必要な型枠を組み立てる工事を行いました。

この作業により、少しずつ地階の部屋の形や大きさが分かるようになってきました。



▲ 柱・壁部分の組立て
(壁枠の建込み作業)



▲ 梁部分の組立て (梁掛け作業)

▼ 1階床部分の組立て



はり 梁

梁とは、柱に対して横向きに組まれる部材のことで、建物の上から荷重を支えるため建物に必要なものです。



⑥コンクリート打設工事



▲ 1階床部分の配筋作業

型枠工事の後は1階床部分に鉄筋の組み立てを行い、コンクリートの打設を行いました。これで地階の躯体部分が完成となります。

今後はこのような作業を繰り返し行い、地下1階地上4階建ての新庁舎の完成を目指していきます。

▶ コンクリート打設中



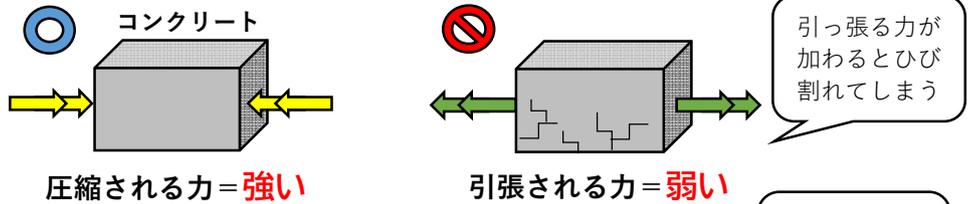
▼ コンクリート打設後
(画像手前部分)



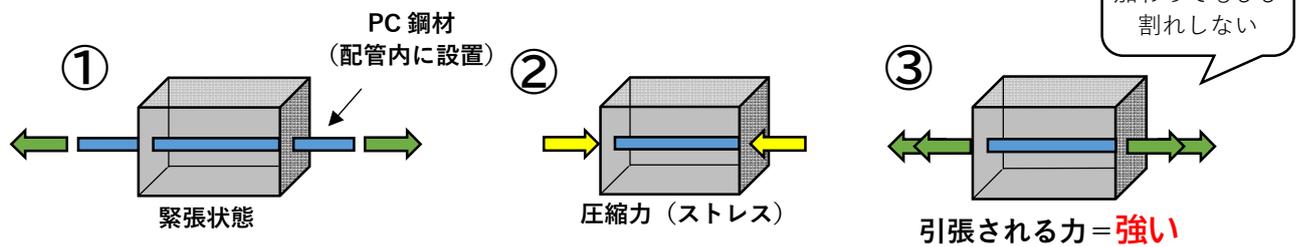
プレストレストコンクリートについて

新庁舎の構造は鉄筋コンクリート造ですが、一部はプレストレストコンクリート造となっています。プレストレストコンクリートとは「あらかじめ圧縮力を与えたコンクリート」のことで、従来のコンクリート構造よりも強度が高く、耐久性が優れたものとなります。新庁舎では一部の梁に使用され、強度が高いことから大スパンでの設計が可能になり、柱の設置本数の削減や開放的な空間を創り出すことが可能になります。

コンクリートの性質



《プレストレストコンクリート》



⇒コンクリートの打設後に配管内のPC鋼材に緊張（引っ張ること）をかけ、PC鋼材を固定することで、伸ばされた鋼材が元に戻ろうとする力がはたります。この性質を利用してコンクリートに圧縮力（ストレス）を与えます。

工事の様子

1階部分の工事については、令和5年4月上旬に梁の配筋やPC配管、PC鋼材の取付けが完了し、5月下旬にコンクリートの打設・PC鋼材の緊張を行いました。また、2～4階については躯体工事の進捗状況に合わせて作業を進めていきます。



▲ 梁の中に設置された PC 配管



▲ PC 鋼材に緊張をかける部品

根室市総務部庁舎整備推進課

電話 0153-23-6111 (内線 2239)

FAX 0153-24-8692

市ホームページでは工事のお知らせや進捗状況などを更新しています！

